

一般社団法人日本イベントプロデュース協会

イベント総合研究所

J E P C 設立 3 0 周年記念号「イベント研究第8号」

締切日延長および論文追加募集のご案内

J E P C イベント総合研究所は、東京富士大学、株式会社シミズオクトとの産学連携により、日本初のイベントが学べる大学として、東京富士大学における経営学部「イベントプロデュース学科」が、文部科学省の認可を得て、平成 25 年度 4 月より開講しております。

イベントプロデュース学科におけるイベント関連科目に対しては、J E P C イベント総研が認定する教員を派遣することになっています。

J E P C イベント総研では、イベントに携わる人材の育成を図るため、E I M (Event Intelligence Management) システムを推進しております。特にE I Mシステム推進にあたっては、その指導者・講師陣の育成が急務となっております。

指導者・講師陣の選定基準は、「イベント実務経験」「イベント研究理論」「イベントに関する論文発表」が重要なポイントとなります。J E P C 会員諸氏は「イベント実務経験」については特に問題はないと思いますが、「イベント研究理論」「イベントに関する論文」の発表の場が少ないとの声が多く聞かれます。

そのため、J E P C イベント総研では、研究の発表の場として「イベント研究」論文集を発行しております。本論文集は、E I M イベント資格のカウントとなるとともに、各種学会・大学等の論文と同等に扱われるようになっております。本年は「イベント研究第7号」を発行すべく準備を進めております。

また、本年はJ E P C 設立30周年を迎えます。30周年記念号として「イベント研究第8号」論文を下記により募集しております。奮ってご応募くださいますようご案内申し上げます。

記

1. 論文または研究ノートテーマ：イベントに関するものでテーマは自由

①研究論文(Article)

研究論文は独自の研究成果をまとめたもの(基本的には図表を含んで15,000以上35,000字以内)とする。

②研究ノート

事例報告、調査報告等について資料的価値のあるもの(基本的には図表を含んで20,000字以内)とする。

2. 応募について 応募される方は「タイトル」のみを3月10日までに、
akaba@event-eim.jp 赤羽政嗣宛にメールでお申し込みください。

3. 原稿締め切り 平成28年4月末(Mail 到着)

4. 原稿送付先 Word原稿にて、メールでお送りください。

送付先メール akaba@event-eim.jp 宛

5. 論文査読 イベント総研査読委員(複数の大学教授)による提出論文の査読

6. 論文掲載協力費 査読後、論文集に掲載が決まった場合

協力費として10,000円納付していただきます。

※「J E P C イベント総研論文集」掲載原稿投稿規定およびイベント研究論文【EIM方式】記述要項についてはHPよりダウンロードできます。<http://www.event-eim.jp/>
問い合わせはメールにてお願いいたします。 akaba@event-eim.jp 赤羽政嗣まで